

I 教育目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ともに力を 合わせる子 ○よく考えて 行動する子 ○すなおで 元気な子

II 経営方針	
目指す学校像	<p>「みんなでつくる みんなかがやく 豊洲小学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもを中心に、保護者・教職員・地域等、みんなで思いを共有してつくる学校 ○すべての子どもが安心して楽しく学び、成長を実感し、かがやくことのできる学校 ○教職員がやりがいをもって働き、自己の資質・能力を向上させられる学校 ○地域と手を携えて子どもを育て、地域に愛される学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○他の人を思いやり、互いを認め合い、力を合わせて活動できる児童 ○自分の考えをもち、伝え合うことのできる児童、主体的に行動できる児童 ○すなおな気持ちで、前向きに人と関わることができる児童
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての子どもの成長を願い、子どもの成長にやりがいを感じる教員 ○互いに話し合い、高め合い、認め合うことのできる教員 ○すべての子どもが安心して学ぶことのできる学級経営、専科経営を目指す教員 ○教員としての資質・能力を高めようと努力し続ける教員 ○子どもは教員の鏡であると捉え、子どものモデルとなる行動をできる教員
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ○「一人一人を大切に、誰も取り残さない教育」の実現を第一に目指す。 ○全ての児童が安心して楽しく学び、保護者が安心して送り出せる学校を目指す。 ○子ども一人一人の考えや願いを大切に、否定することなく、子どもが夢をもってのびのびと学び、成長することのできる学校を目指す。 ○保護者と教職員、関係諸機関が並んで子どもの成長を支えるために、「誠実・正確」であることに重きをおいて、相互の信頼関係を築く。 ○学校は地域の拠点であることをふまえ、地域や家庭の願いをよく理解して連携し、地域と一体となって教育活動を推進する。

III 経営目標	
----------	--

重点領域 1	主体的に学ぶ児童の育成	
中期経営目標	子ども一人一人がめあてをもち、自分の考えをもって主体的に学習することにより、自らの成長を実感できる学びを実現する。	
短期経営目標	全教員が、学習指導要領に基づいた各教科の学習のねらいを明確に把握し、適切なめあてをもたせることにより、子ども一人一人に主体的に学ぶことのできる授業を実現する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子ども側）
1	一人一人がめあてを明確にして、自分の考えを表現することのできる授業を行う。 (100%)	毎時間、めあてをもって学習できた。 (90%)
2	タブレット、デジタル教科書などを毎日活用し、楽しく分かりやすい授業を行う。 (100%)	タブレットを使って楽しく学習し、分かるようになった。 (90%)
3	外国語活動・外国語科において、楽しく英語で関わりあうことのできる授業を行う。 (90%)	外国語活動・外国語科に楽しく取り組み、英語で先生や友達と関わる事ができた。 (90%)
4	図書館や図書室、読書タイムを活用し、本好きな児童を育成する。 (年間読書1000ページ以上 90%)	たくさんの本を読み、本を読むのが好きになった。 (年間読書1000ページ以上 90%)

重点領域 2		豊かな心の育成	
中期経営目標	自分も他の人も大切にし、互いのよさや違いを認め合いながら、よりよく生活しようとする児童を育成する。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育、人権教育、ふれあい月間の取組を通して、子どもたちが主体的に考えながら、自分も他の人も大切にしようとするあたたかい学校風土を醸成する。 ・子どもが豊洲小のきまりを守り、互いに気持ちよく生活するために、全教員の一貫した指導を行う。 		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	いじめの未然防止・早期発見に努め、誠実に対応して解決する。 (いじめの解決100%)	いじめにつながる4つの「い」をなくし、思いやりをもって人とかかわることができた。 (90%)	
2	常に4つの「あ」を意識した指導を行い、教員もモデルを示す。 (100%)	4つの「あ」を意識して生活することができた。 (90%)	
3	道徳科の授業を積み重ねて自分の考えをもたせ、よりよく生活しようとする態度を育てる。 (90%)	道徳科の授業では、自分の考えをもったり、自分をふりかえったりできた。 (80%)	
4	丁寧な聞き取りを行い、正直にすなおな心で話ができるように指導を行う。 (90%)	まちがった行動をしたときも、正直にすなおに話をして解決できた。 (80%)	
5	「いいところみつけ」を行い、自己有用感を高める取組を工夫する。 (90%)	ひとのいいところをたくさん見付けることができ、自分のいいところにも気が付いた。 (90%)	

重点領域 3		特別支援教育の充実	
中期経営目標	全教員が特別支援教育の視点に基づき、合理的配慮を行いながら学級経営・専科経営を行う。		
短期経営目標	特別支援教育研修等で全教職員の理解を深め、教科指導や教室環境において豊洲小学校の基本方針を決定し、全教職員で取り組む。		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	一人一人を大切に学級経営や専科経営を行う。 (100%)	一人一人を大切に教育が行われていると思いますか。 (保護者アンケート 90%)	
2	すべてのこどもが安心して学校に通えるように、こどもの困り感に気づき、合理的配慮を行った。 (90%)	安心して楽しく学校に通うことができた。 (100%)	

重点領域 4		地域・家庭との連携	
中期経営目標	家庭・地域に開かれた学校づくりを進め、外部の教育力を十分取り入れてこどもの成長を支える。		
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携は、「すばやく、正確に、誠実に」をモットーとし、保護者が不安を感じる前にこどもの様子を伝えたり、学校だよりやホームページで情報の共有を行ったりする。 ・読み聞かせボランティアやお雛子体験、アウトリーチ、キャリア教育など各学年で年間5回は地域の教育力を生かした取組を行う。 		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	タブレットやホームページで、学校での児童の様子を保護者に伝える。 (90%)	学校は、経営方針やこどもの様子などについて分かりやすく積極的に情報を発信している。 (保護者アンケート 80%)	
2	読み聞かせボランティア、地域学習、出前授業等、地域の教育力を年間を通して活用する。 (90%)	読み聞かせや出前授業に楽しく参加できた。 (90%)	